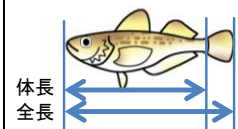


令和3年度沖合底曳網漁期前調査速報 ～鳥取県水産試験場からのお知らせ～

8月16, 23日に青谷沖、8月18～19日に隠岐東方および隠岐北方海域の水深190～252mの10地点（図1）において、試験船「第一鳥取丸」の着底トロール網（網幅約22m、網高約2m、袋網目合7節、日中30分間曳網/地点）を用いてハタハタを主とする底魚類の分布調査を行いました。その結果の概要についてお知らせします。なお、今年度は、低気圧等の影響により、例年調査している14定点のうち、4地点は欠測となりました。

- 解禁後のハタハタ漁獲動向は前年並み・近年5カ年平均を下回る見込み
- 本調査では10地点中、3地点で100kg以上入網、中江沖でも獲れた
- 魚体は中銘柄（14～18cm）、大銘柄（体長17cm以上）が主体
- ※前年に比べ、中銘柄および大銘柄（体長17cm以上）の割合が高い



【結果の概要】

ハタハタの分布状況

- 1網（30分曳網）当たりの入網重量が100kgを超えたのは青谷沖水深217m（120kg）、C魚礁北水深198m（176kg）、中江沖水深190m（126kg）、中江沖でも獲れた（表1）
- 漁獲物は中～大銘柄（体長14～17cm以上）主体となる見込み（図2, 3）
※前年に比べて中～大銘柄（2～3歳魚）の割合が高い
- 雄の生殖腺指数は平均21.3%、雌は平均7.2%、雌雄ともに、前年より高い傾向（図4）
- 2021年の調査による1網（30分曳網）あたりのハタハタ平均入網重量は68.3kg/網であり、2020年の平均301.2kg/網より減少し、平年（2016～2020年）の130.1kg/網と比べても少ない入網となったが（表1）、過去9カ年では4番目に高い値。これは、2020年の調査の半分が8月初旬であり、例年より早かったことなどが大量漁獲につながったと考えられた。このため、2021年の調査は、お盆明けに開始し、出来る限り、沖底解禁直前に行った。
- これまでの第一鳥取丸による8月の一網（30分曳網）あたりの漁獲量（kg）と鳥取県沖合底びき網9～12月の漁獲量の関係から2021年9～12月の沖合底びき網の漁獲動向は前年並み・平年を下回ると見込む（図5）。※いつまで獲れるかがカギ

その他の魚種

- カレイ類は、アカガレイ、ソウハチ（えてがれい）、ヒレグロ（べら、やまがれい）の平均入網重量は概ね平年並であった。
- 深海性バイ類は、白バイ、赤バイの入網重量は平年よりやや減少した。そして、エビ類（クロザコエビ：もさえび等）は平年並みであった。
- スルメイカ（胴長15～25cm）の入網重量は、2019、2020年に多かったが、今年はやや少なかった。一方、白島沖で大型（平均体長約28cm）のニシンが100kg以上入網した。

大型クラゲに関する情報

今回の調査で大型クラゲ（主にエチゼンクラゲ）（傘径20～90cm）が確認され、平均個体数は39個体/網と昨年より非常に多かった。青谷沖などでは、水深190m台よりも水深200m以深の方が多く入網した。ただし、8/25時点の小底漁業者からの最新情報では、隠岐海峡の水深約70mなど沿岸域でも入網しているとのこと。操業の際は、御注意ください。

担当：海洋資源室 野々村（電話：0859-45-4500）

表1 沖底漁期前調査結果(2021年)

調査日	時間	天気	曳網 方向	調査点	表水温 (°C)	近底層水温 (°C)
8/16	11:46	曇	220°	青谷沖 198m(St. 1)	26.0	4.3(191m)
8/16	14:25	曇	180°	青谷沖 217m(St. 2)	25.6	3.0(215m)
8/23	12:47	曇	150°	青谷沖 251m(St. 3)	25.6	2.8(250m)
8/16	16:49	晴	349°	C魚礁北 198m(St. 4)	25.9	3.6(190m)
8/18	15:13	曇	160°	大瀬沖 200m(St. 5)	25.0	3.2(190m)
8/18	17:40	曇	220°	大瀬沖 211m(St. 6)	25.4	3.7(190m)
欠測				大瀬沖 232m(St. 7)		
8/19	9:27	晴	129°	白島沖204m(St. 8)	24.4	2.1(200m)
8/19	7:35	曇	136°	白島沖219m(St. 9)	24.6	1.4(210m)
欠測				白島沖235m(St. 10)		
8/19	14:05	晴	42°	中江沖190m(St. 11)	25.9	4.7(185m)
8/19	16:25	晴	16°	中江沖218m(St. 12)	25.9	4.0(210m)
欠測				日御碕沖 207m(St. 13)		
欠測				日御碕沖 232m(St. 14)		

	一網(30分曳網)当たりの漁獲量(kg)														():入網数	
	ハタハタ 合計	小 10~14cm	中 14~18cm	大 18cm以上	アカガレイ	ソウハチ エテ	ヒレグロ ペラ	エビ類	白バイ	赤バイ	ニシン	マダラ	ホッケ	ハツメ		スルメイカ シマメ
青谷沖 198m(St. 1)	46.9	4.0	41.0	1.9	5.7	5.0	0.0	0.7	0.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	(6)
青谷沖 217m(St. 2)	120.0	8.4	86.8	24.9	43.0	13.0	0.1	1.2	1.2	5.9	0.0	0.0	0.3	0.0	18.0	(11)
青谷沖 251m(St. 3)	39.0	2.3	32.1	4.6	6.0	0.0	0.1	0.3	4.3	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	10.2	(93)
C魚礁北 198m(St. 4)	176.0	16.2	137.8	22.0	1.0	0.2	0.0	1.0	0.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	(7)
大瀬沖 200m(St. 5)	50.4	2.2	46.5	1.7	0.6	0.0	0.1	0.5	0.5	4.0	0.0	1.6	0.0	0.0	5.1	(23)
大瀬沖 211m(St. 6)	26.0	1.0	19.8	5.1	0.5	8.1	2.7	2.3	0.5	3.5	0.2	0.0	0.3	0.0	5.0	(41)
大瀬沖 232m(St. 7)																
白島沖204m(St. 8)	51.2	0.8	27.5	22.9	8.4	0.3	2.5	0.3	0.0	2.5	180.0	2.7	0.0	4.7	1.6	(79)
白島沖219m(St. 9)	46.3	3.0	33.1	10.2	13.5	0.0	5.2	0.8	0.9	0.4	123.6	8.5	0.0	0.0	0.2	(57)
白島沖235m(St. 10)																
中江沖190m(St. 11)	126.0	4.2	111.5	10.2	4.3	15.0	8.5	0.3	0.0	8.0	0.5	8.5	0.0	0.0	21.2	(35)
中江沖218m(St. 12)	1.3	0.0	0.8	0.5	0.0	4.0	36.7	3.3	4.7	4.1	0.7	0.0	0.0	0.7	5.5	(69)
日御碕沖 207m(St. 13)																
日御碕沖 232m(St. 14)																
2021年 平均値	68.3	4.2	53.7	10.4	8.3	4.6	5.6	1.1	1.3	4.3	30.6	2.1	0.1	0.5	9.3	(39)
2020年 "	301.2	89.1	183.0	29.1	6.2	3.0	5.6	1.6	1.9	4.0	0.2	0.3	0.0	-	16.8	(3)
平年(2016~2020年) "	130.1	25.3	81.3	23.5	9.0	2.7	4.8	1.3	2.0	6.2	12.3	1.6	0.3	-	-	(3)

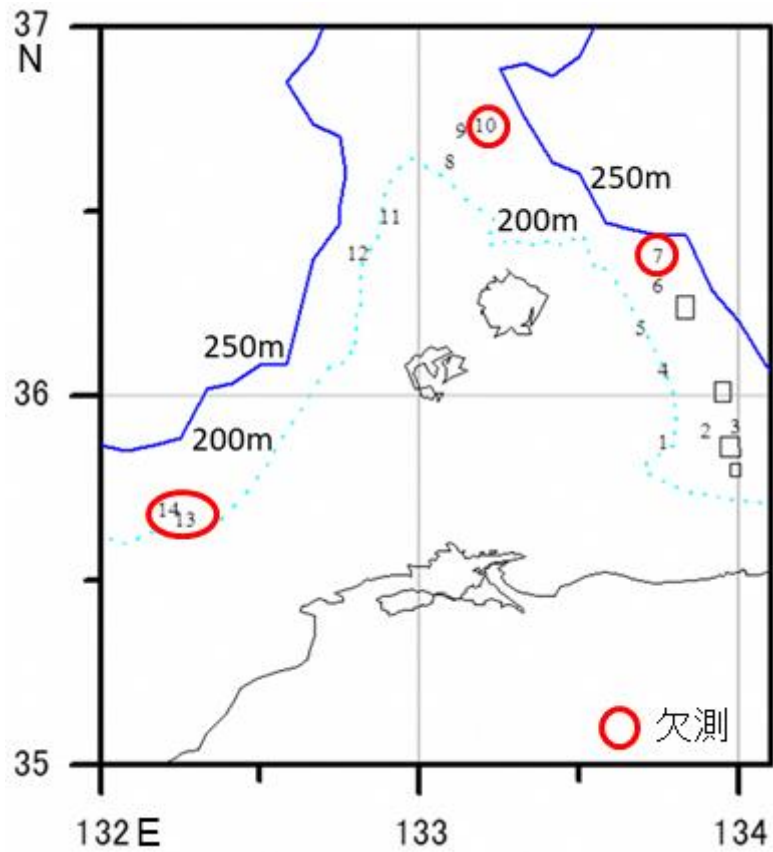


図1 沖合底曳網漁期前調査地点

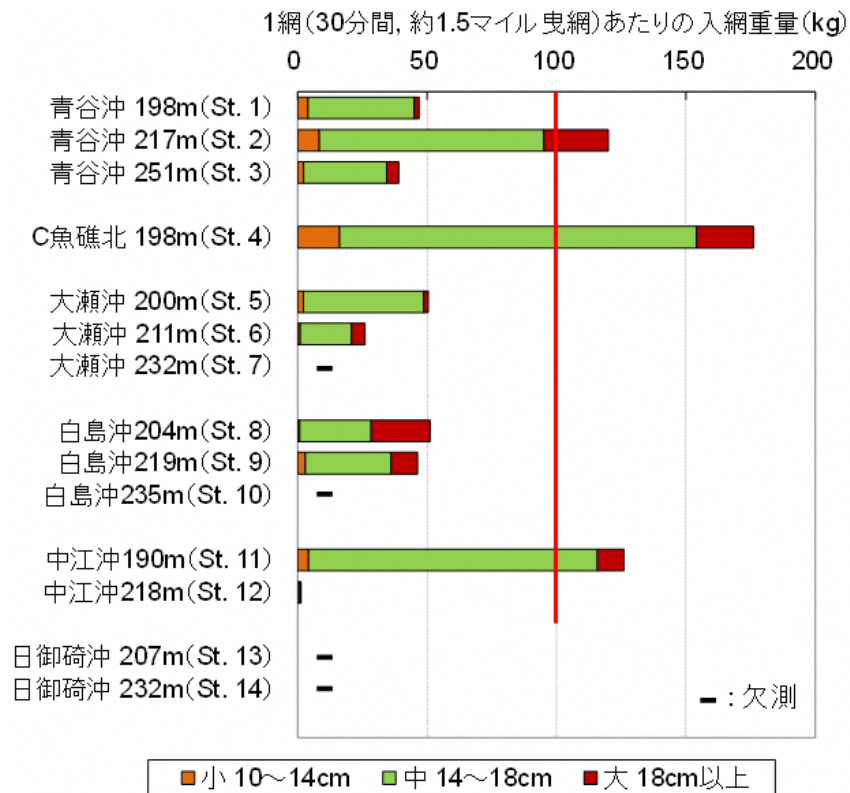


図2 2021年沖合底曳網漁期前調査によって漁獲されたハタハタの漁獲量と体長組成

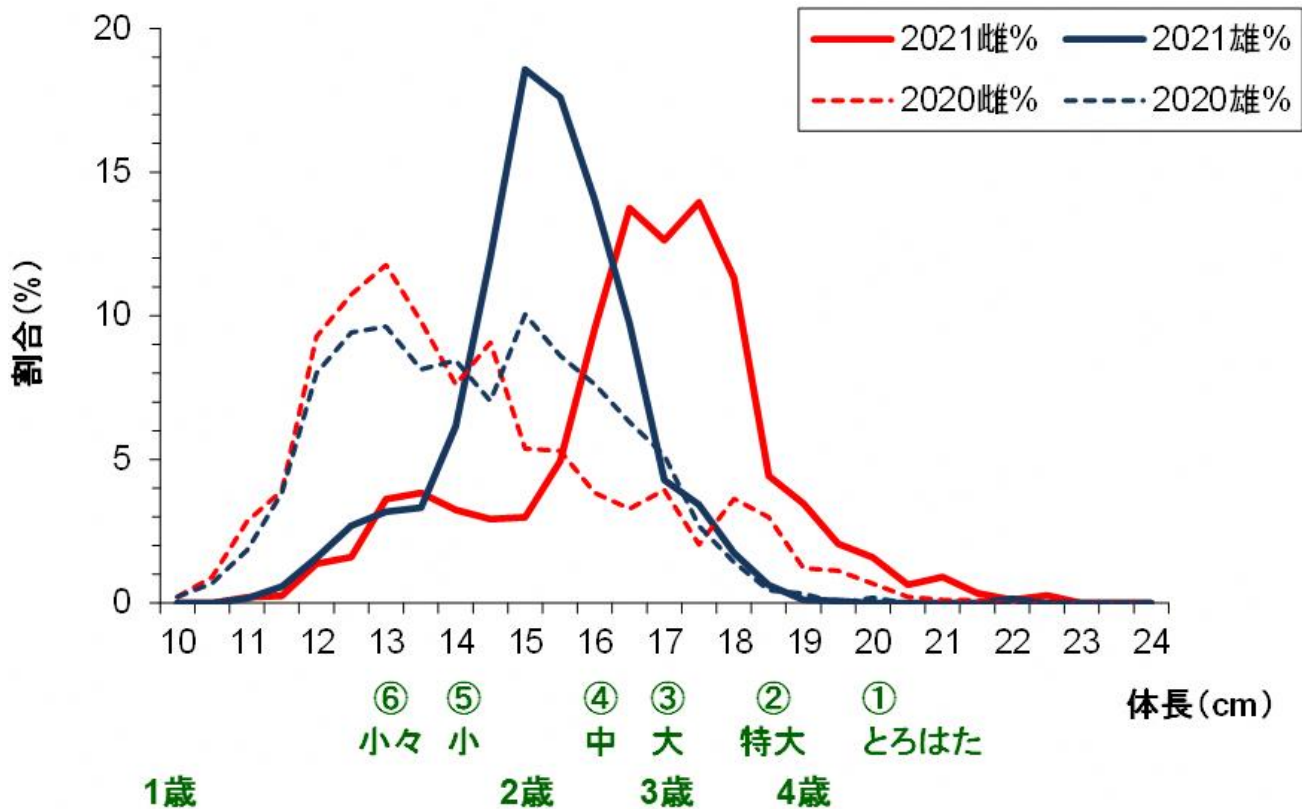
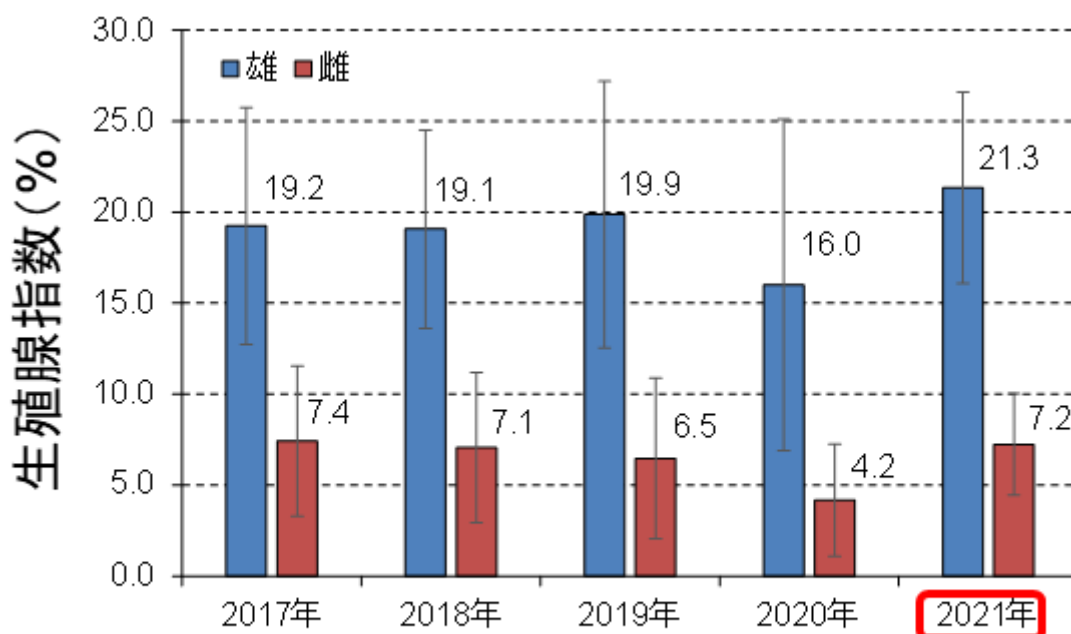


図3 第一鳥取丸によって漁獲されたハタハタの体長組成 (%)



※生殖腺指数(%) = 生殖腺重量g ÷ 内臓除去重量g × 100

図4 第一鳥取丸によって漁獲されたハタハタの生殖腺指数 (%) の年変化

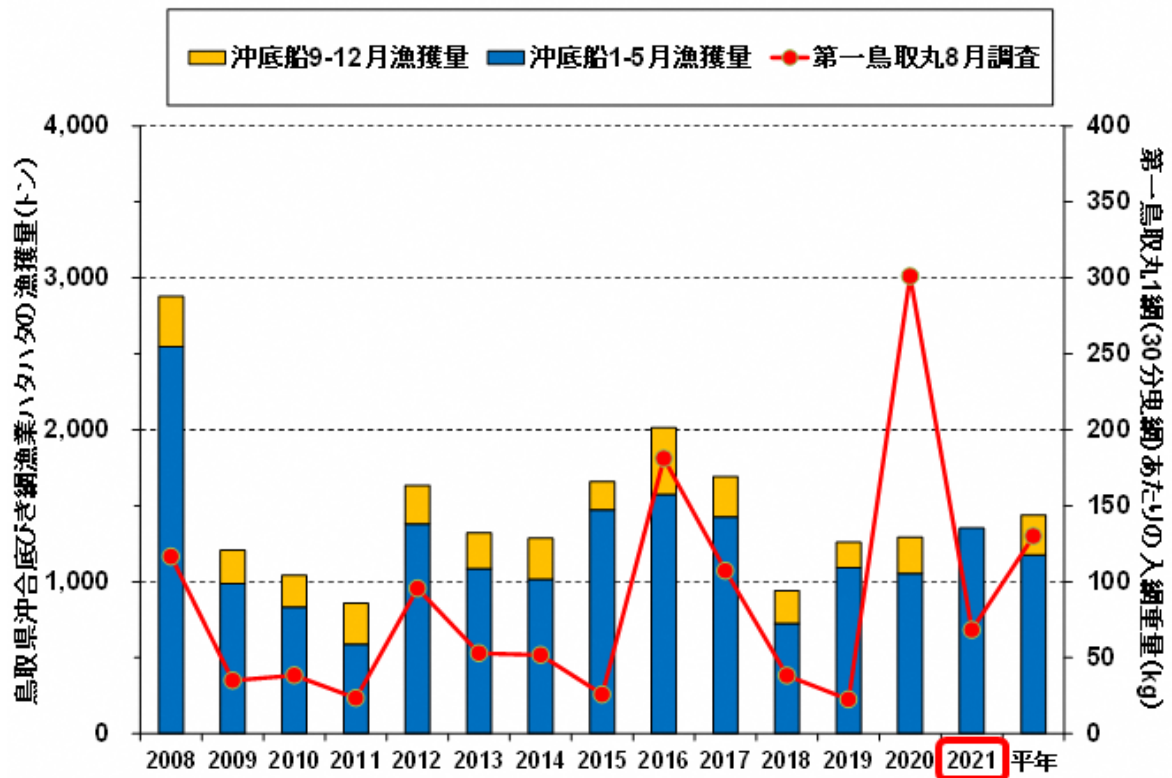


図5 第一鳥取丸によるハタハタの入網重量(折れ線グラフ)と沖底船漁獲量(棒グラフ)